

《海に親しむ・海を守る》  
3年 単元名「有明海・見つけたよ海の生き物」(22時間)

## 1 単元のねらい

干潟観察会や、有明海でとれる魚や地域で消費されている魚についての調査活動を通して、干潟の楽しさを感じたり、有明海の生き物図鑑を作成したりする。また、有明海の楽しさや海を守るために自分たちにできることを伝えるために、新聞や有明海の生き物の特徴をいかしたゲーム等を考え、「天領小海まつり」を開催する。

## 2 単元の指導計画

| 配時   | 学 習 活 動   | ☆外部連携 ※指導上の留意点   |
|------|---|--|
| 3時間  | <p><b>干潟って何？干潟の楽しさを伝えたり生き物を調べたりしよう！</b></p> <p>○ネイチャーガイド柿川先生の話聞き、干潟や有明海について知る。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有明海には、いろいろな生き物があるんだな。</li> <li>・生き物には様々な特徴があるんだな。</li> <li>・有明海を守るために、自分にもできることがありそうだ。</li> </ul> <p>○干潟の観察をする。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ムツゴロウがいないのは何でだろう。</li> <li>・シャコ釣りをしている人がいるな。</li> <li>・干潟にはいろいろな生き物があることを知れて楽しいな。</li> </ul>   | <p>※前時のネイチャーガイドの話や生き物について調べたことについて想起させることを通して、干潟観察への意欲を高めさせる。</p>  |
| 14時間 | <p><b>干潟の生き物を調べよう！</b></p> <p>○有明海の干潟に棲む生き物や、それぞれの形態・生態の特徴についてGTから話を聞いたり、図鑑で調べたりする。(6)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハクセンシオマネキやムツゴロウは珍しい生き物だね。</li> <li>・干潟の生き物が食べるものの中にプランクトンという生き物がいるんだ。</li> <li>・実際に見ることができなかった生き物は図鑑やインターネットで調べてみよう。</li> </ul> <p><b>「天領小海まつり」の準備をしよう！</b></p> <p>○生き物について調べたことを画用紙にまとめ、有明海の生き物図鑑を作成する。(8)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハクセンシオマネキの雄と雌の特徴を分かりやすく描きたいね。</li> <li>・有明海の生き物でつりべームを作るのはどうかな。</li> </ul> | <p>※生き物を探すことばかりに夢中にならないように声をかけたり、分からないことや気になることはネイチャーガイドの方に質問するように促したりする。</p> <p>☆みなと小学校に海祭りにきてもらうように招待状を準備しておく。</p> |
| 3時間  | <p><b>「天領小海まつり」を開催しよう！</b></p> <p>○天領小の児童や干潟観察会と一緒に参加したみなと小の友達やGTの方を招待し、「天領小海まつり」開催する。(2)</p> <p><b>学習を振り返ろう！</b></p> <p>○学習の振り返りを行い、自分たちの学習の価値を実感する。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生き物図鑑を読んでもらっている人がいて、嬉しかった。質問にも答えることができたよ。</li> <li>・有明海の生き物を実際に見たり、触ったり、捕まえたりできて楽しかった。海に興味をもったね。</li> </ul>  | <p>※相手意識をもって話すことができるようにする。</p> <p>※本単元を通して、今後の見通しがもてたことを確認し、課題解決への意欲を高めるようにする。</p>                                   |

## 他教科等関連項目

## 社会科「わたしたちのまちのようす」(4月)

- 校区を探検し、校区にはどんなものがあるかを調べ、校区について知る。
- 校区の中には近代化遺産である三池港があることを知る。

## 社会科「わたしたちの市のようす」(6月)

- 大牟田市の形や大きさ、海に近い所や山に近い所などについて調べ、大牟田市の特徴を知る。

## 社会科「海苔作り」(12月)

- 大牟田市でさかんな海苔作りについて、どのようにしてさかんになったかや海苔作りの工程などについて調べ、海苔作りにかかわる人々の思いや努力を知る。

## 社会科「地域に残る年中行事」(1月)

- 大牟田市に残る年中行事について調べ、みなと小学校校区に残る「港まつり」について知る。

《海に親しむ・海を守る》

3年 単元名「有明海・見つけたよ海の生き物」(2・3/22時間)

3 本時のねらい

G Tネイチャーガイドの柿川先生の話をもとに、有明海に生きる生き物に関心を持ち、有明海の干潟の様子や干潟の生き物を調べ、自分の課題について見通しが持てるようにする。

4 本時の指導計画

| 配時  | 学 習 活 動   | ☆外部連携 ※指導上の留意点   |
|-----|---|--|
| 10分 | <p><b>前時の学習をふりかえり、本時のめあてをつかもう！</b></p> <p>○ネイチャーガイドとの交流や生き物について調べたことを想起する。<br/>                     ・アサリ貝が1日に24Lもの海の水をきれいにするなんて、本当にすごくて、感動したな。<br/>                     ・有明海の干潟ってどうなっているんだろう。</p> <p>○ネイチャーガイドの方の話を聞き、今日の活動について知る。<br/>                     ・分からないことは、ネイチャーガイドの方に聞いてみよう。<br/>                     ・どんな生き物に出会えるか楽しみだな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>有明海の干潟の様子や干潟の生き物を調べよう。</p> </div>   | <p>※前時のネイチャーガイドの話や、生き物について調べたことについて想起させることを通して、干潟観察への意欲を高めさせる。</p> <p>※見つけた生き物や干潟について分からないことは、ネイチャーガイドの方に聞いて、更に関心を持てるようにする。</p>          |
| 60分 | <p><b>干潟の観察をしよう！</b></p> <p>○小グループに分かれ、ネイチャーガイドの説明を聞く。<br/>                     ・干潟では足がとられてぬげにくくなるので、気を付けて歩く。<br/>                     ・生き物を見つけたら、先生や周りの友達に声をかける。<br/>                     ・たくさんの生き物があるので、生き物が苦手でも楽しんで観察する。<br/>                     ・干潟の向こうには、長崎の島原が見える。有明海は3つの県とつながっている。</p> <p>○干潟や干潟の生き物を観察する。<br/>                     ・ムツゴロウがいないのは、なんでだろう。<br/>                     ・シャコ釣りをしている人がいるよ。筆を使って釣っているな。<br/>                     ・マメコブシガニは縦にも歩くんだ。カニはどれも横に歩くと思っていたよ。<br/>                     ・干潟には、いろんな生き物がいることが知れて楽しいな。</p> | <p>※目的意識を持ち、安全に気を付けて活動できるように、ネイチャーガイドの方の話をしっかり聞くようにさせる。</p> <p>※生き物を探すことばかりに夢中にならないように声をかけたり、分からないことや気になることはネイチャーガイドの方に質問するよう促したりする。</p> |
| 10分 | <p><b>学習を振り返ろう！</b></p> <p>○学習の振り返りを行い、今後の取組への意欲をもつ。<br/>                     ・干潟観察は楽しかったな。この楽しさを、沢山の人に伝えたいな。<br/>                     ・もっと有明海の生き物について調べたいな。<br/>                     ・こんなに沢山の生き物がいるのに、絶滅危惧種がいるのが残念。海を守るために、自分に何かできることはないかな。</p>  | <p>※本時学習で、今後の見通しがもてたことを確認し、課題解決への意欲を高めるようにする。</p>  |

≪海に親しむ・海を守る≫  
 4年 単元名「つながろう！つなげよう！私たちと諏訪川と有明海」(52時間)

1 単元のねらい

諏訪川でのカヌー体験や水質検査等の体験・探求活動を通して、本校に隣接する地域の諏訪川や有明海のよさや課題などの現状を知り、その価値を追求したり、自分たちができることを考えたりして、川や海の環境を守るために自分ができることを実践することができる。

2 単元の指導計画

| 配時   | 学 習 活 動   | ☆外部連携 ※指導上の留意点  |
|------|---|---|
| 8時間  | <b>つながろう！わたしたちと諏訪川</b><br>○有明海とつながっている諏訪川に興味・関心を持つために、カヌー体験をする。(1)<br>・川の水が濁っている。<br>・ゴミがいっぱい落ちている。<br>○GTの話聞き、諏訪川の近くにいる生き物や植物について話を聞き、生き物の多様性について考える。(2)<br>・川の流域によって住んでいる生き物が違うな。<br>・初めてこんな生き物が諏訪川にいることを知った。<br>○体験活動を振り返る活動を通して、さらに調べたいことや確かめたいことを話し合う。(3)<br>・川と海が本当につながっているか調べたい。<br>・諏訪川がどれくらい汚れているのかを知りたい。      | ※社会科や三年生での総合的な学習の時間で学習した地域の環境に関する学習を想起させ、身近にある三池港や有明海の環境に目を向けさせる。<br>☆「駿馬地区公民館」へ協力依頼し、諏訪川のカヌー体験・環境教室をしてもらう。<br>☆カヌー教室での保護者の監視依頼や駿馬地区公民館までの移動手段(バスの手配)を確保しておく。 |
| 22時間 | <b>考えよう！私たちと諏訪川と有明海</b><br>○諏訪川の上流から下流、有明海の水質検査を通して、諏訪川の課題や調べていきたいことを考える。(4) <span style="background-color: black; color: white; padding: 2px;">本時 11/52</span><br>・上流、中流、下流の生き物の違いを調べたい。<br>・川の水が汚れる原因を調べたい。<br>・下流に近づくほど水が汚くなるのはなぜだろう。<br>○下流に行くほど川の水が汚いということから、自分たちに何ができるかを考える。(5)<br>・油污れなどは拭いて流そう。<br>・こまめに水は止めよう。 | ☆環境保全課に連絡をして、水質検査の道具を借りる。<br>☆ネイチャーガイドの柿川先生へ水質調査の依頼をし、水質検査や環境教室をしてもらう。  |
| 22時間 | <b>つなげよう！私たちと諏訪川と有明海</b><br>○自分たちが考えたできることを、全校児童や地域の方々を呼んで、環境保全を呼びかける。(6)<br>・ポスターを作って、油污れ等は拭いて流すことを呼びかける。<br>・生き物が流域によって違うことを画用紙で伝える。<br>○学習の振り返りを行い、自分たちの学習の価値を実感し、自分達にできることを行動する。(7)<br>・諏訪川の水が有明海に流れるから、きれいにすることを呼びかけることができよかったな。   | ※作成した図鑑やポスター等を全校児童を昼休みに招いて、環境保全を呼びかける。  |

他教科等関連項目

社会科「住みよいらし」

- 暮らしの中で出るごみはどのように処理されるのかを調べる。
- ごみを減らすために、地域や自治体で行っていることを調べ、自分たちには何が出来るかを考える。

社会科「水はどこから」

- 水道の水はどこから送られてくるか・どのように使用・処理されているのか・ダムや森林はどんな役割を担っているかを調べる。
- 水を大切に使うために、自分たちには何が出来るかを考える。

理科「季節と生き物」「自然の中の水」

- GTの話聞く活動を通して、自然の豊かさが減少していることについて知る。
- 水はいろいろと姿を変えながら、絶え間なく循環しているという見方・考え方を持つ。

国語「報告します、みんなの生活」

- 全校の暮らしと海洋教育の関係をj知るためにアンケートをつくり、調べて分かったことを資料を使って表現する。

道徳「ふれあいの森」

- 保全活動を話し合う活動を通して、自然愛護の心情やどんな取り組みができるか考える。

《海に親しむ・海を守る》

4年 単元名「つながろう！つなげよう！私たちと諏訪川と有明海」(11/52時間)

3 本時のねらい

諏訪川でのカヌー体験や水質検査を通して、諏訪の現状を知り、諏訪川の価値を追求したり、諏訪川や有明海をもっとよくするために自分達ができることを考えたりして、自分の課題を見つけることができる。

4 本時の指導計画

| 配時  | 学 習 活 動  | ☆外部連携 ※指導上の留意点  |
|-----|--|---|
| 10分 | <p><b>諏訪川と出会おう</b></p> <p>○前時までの諏訪川の見学やカヌー体験について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上流は水がきれいだった。</li> <li>・下流に近づくにつれて水が汚くなっている気がする。</li> <li>・場所によって住んでいる生き物が違うな。</li> </ul> <p>○上流・中流・下流の水質検査がどう違うかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの生活排水が流れているから、中流が一番汚いと思う。</li> <li>・上流が水が透明だったので一番きれいだと思う。</li> <li>・汚れが海に流れていくから、有明海も汚いのかな。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     諏訪川の上流・中流・下流で水質は違うのかを調べよう。                 </div>   | <p>※流域ごとの川の様子やカヌー体験が想起できるように、写真をまとめて提示する。</p> <p>※川にゴミが落ちていたことや生き物が違ったことだけでなく、流域によって水の色が違ったことに目を向けさせる。</p>  |
| 30分 | <p><b>諏訪川の水質調査をしよう</b></p> <p>○上流・中流・下流の水質検査をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上流は透明な水で、きれいだった。</li> <li>・下流の水は茶色でとても汚かった。</li> <li>・下流へと近づくにつれて、水も汚くなっている。</li> <li>・私たちの生活が水を汚しているのかな？</li> </ul> <p>○柿川先生の話聞き、このような検査結果になる理由を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川の水と森（森林）はつながっているんだ。</li> <li>・水を守るためには、木も守らないといけないんだな。</li> <li>・私たちの生活が川の水を汚していたんだ。</li> <li>・この汚い水がどんどん海に流れていくんだな。</li> </ul> <p>○これから自分達にできることを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水のきれいさによって住んでいる生き物も違うから、その生き物を守りたいな。</li> <li>・川をきれいにするためには、私たちの生活排水を減らすことが必要だと思う。</li> </ul> | <p>☆諏訪川見学に行くときに、各流域の水をペットボトル1本分ずつ汲んでくる。</p> <p>☆柿川先生に水質調査・講話の依頼を事前しておく。また、水質検査の道具を環境保全課に借用依頼をする。</p> <p>※生活排水が流れる所から川の水が汚れるということから、自分達にできることは何かを話し合わせる。</p> |
| 5分  | <p><b>学習を振り返ろう！</b></p> <p>○学習の振り返りを行い、今後の取組への意欲をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川の水が流域によってこんなに違うことを初めて知った。</li> <li>・私たちの生活が水を汚しているんだな。</li> <li>・川をきれいにする呼びかけをこれからしたいな。</li> </ul>   | <p>※本時学習で、今後の見通しがもてたことを確認し、課題解決への意欲を高めるようにする。</p>   |

## 《海に知る・海を利用する》

## 5年 単元名「地域の宝を調べよう！

## ～三池港を中心にした地域学習～(17時間)

## 1 単元のねらい

校区にある世界遺産「三池港」や有明海とその他の海の環境について関心をもち、三池港の歴史や担っている役割を調べ、三池港の良さを見出したり、海洋環境を調べ、海洋環境を保全する価値を見出したりして、2つの視点で対話することを通して、海の利用に関する考えを深めて新聞を作成し、発信することができる。

## 2 単元の指導計画

| 配時   | 学 習 活 動   | ☆外部連携 ※指導上の留意点  |
|------|---|---|
| 3時間  | <p><b>私たちは三池港や有明海についてどれだけ知っていたの？</b></p> <p>○フェリーから有明海のごみを見て、海の様子を知る。(時間外)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海にはペットボトルや発泡スチロールの破片が浮いていたよ。</li> <li>・船の上からだごみはあまりないようだけど、砂浜はどうなんだろうか。</li> </ul> <p>○みなと振興室の方に来てもらい、三池港出前講座を通して、自分達が知らないことの多さに気付く。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科の学習で、日本は外国と貿易をしていることは学んでいたけど、三池港も様々な国と貿易を行っているんだ。</li> <li>・昔は石炭でエネルギーをつくっていたけど、今は環境のことを考えて太陽光など地球に優しい方法でエネルギーをつくっているんだね。</li> </ul> <p>○海洋利用と海洋環境保全のグループに分かれ、自分の課題をつかむ。</p>  | <p>※フェリーで様子を観察する際に、クイズを三択で提示しておく。</p> <p>☆「大牟田市みなと振興室」へ協力依頼し、三池港の環境保全のための取組や三池港の貿易の現状について話をしてもらう。</p>   |
| 13時間 | <p><b>三池港の歴史や役割を知ろう！</b></p> <p>○三池港見学やクルージングに行き、実際のものを見ながら説明を受けたり、歴史をインターネットで調べることで、理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・閘門は開閉式で、干潮の時でも、船を停めておくことができるような工夫があるんだな。</li> <li>・三池港の景色は昔ながらの素晴らしい風景だな。</li> </ul> <p><b>有明海や海の環境を知ろう！</b></p> <p>○旧三池海水浴場に行き、ゴミ拾いをしてゴミを分類することを通して、プラスチックゴミの多さに気づき、海のゴミ問題をインターネットで調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチックのゴミが一番多かった。</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>本時 9/18</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の海も三池海水浴場と同じように、プラスチックのゴミが多いんだ。</li> </ul> | <p>※三池港までの移動手段（バスの手配）を確保しておく。</p> <p>※ゴミを分別して集めるためのビニール袋、安全のための軍手等の準備を事前に行う。</p>  |
| 1時間  | <p><b>三池港・有明海・海の新聞を作って考えを広げよう！</b></p> <p>○海洋利用グループと海洋環境保全グループで対話をし、お互いの働きが必要なことに気づき、考えを深め、新聞を作り発信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三池港みたいに海洋を利用する場合は、環境を守るための対策を考えながら取り組まないといけないんだな。</li> <li>・世界遺産である三池港をもっと大牟田のシンボルとして活用することができればよいのではないか。</li> </ul> <p><b>学習を振り返ろう！</b></p> <p>○学習の振り返りを行い、自分たちの学習の価値を実感する。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三池港の素晴らしさを知ってもらうために、イベントなどをたくさん行って、それに積極的に参加したい。</li> <li>・有明海を美しく残していくために、まずは自分達がゴミを捨てないよう心がけることが大切だと思う。</li> </ul>  | <p>☆三池港で仕事をしている方々やボランティアに携わる方々を呼び、討論を聞いてもらうようにする。</p> <p>※事前に内容を考えておき、それに伴う資料を準備させておく。</p> <p>※これからの三池港やそこで働く施設をどのようにして守っていくのかという観点から振り返りを行う。</p> |

## 他教科等関連項目

社会科「世界とつながる日本の工業」(11月)

○工業生産を支える貿易や運輸の働きを知り、それらが国民生活に大きな影響を与えていることを理解する。

理科「流れる水のはたらき」

○侵食・運搬・堆積の3つの流れる水のはたらきが日常生活ではどこで働いているのか考える。

国語科「和の文化を受けつぐ-和菓子をさぐる」

○伝えたいことを効果的に伝えるために、内容や目的に合わせた資料を用いて説明できる。

国語科「立場を決めて討論しよう」

○互いの主張やその理由を明確にして具体例も用いながら説明する。

《海を知る・海を利用する》

5年 単元名「地域の宝を調べよう！」

～三池港を中心にした地域学習～(9/18時間)

3 本時のねらい

三池海水浴場で拾ってきたゴミを分類することで、有明海にあるゴミの現状について知り、他の海ではどのようなゴミが多く落ちているのか課題を設定し、調べるための意欲をもつことができる。

4 本時の指導計画

| 配時  | 学 習 活 動   | ☆外部連携 ※指導上の留意点  |
|-----|---|---|
| 5分  | <p><b>海水浴場に落ちていたゴミで一番の多いのは何か予想を立てよう</b></p> <p>○ゴミの種類で何が一番多いか予想を立てる。<br/>                     ・僕が拾ったのはペットボトルが多かった気がするからペットボトルだと思う。<br/>                     ・プラスチックが多い気がする。</p> <p>○海岸や港にたくさんのゴミがある原因について話し合う。<br/>                     ・釣りをして、使った道具を捨てていく人がいるから<br/>                     ・ペットボトルや空き缶などを海岸で捨てる人が多いから<br/>                     ・川から流れてきたゴミが海岸に流れ着いたから</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>三池海水浴場に落ちていたゴミを分類し、有明海のゴミの現状を知ろう。</p> </div>                     | <p>※前時まで整理したゴミの種類と量についての調査結果を表にまとめて提示する。</p> <p>※ゴミが三池港・海水浴場で捨てられたものだけでなく、川や海から流れてきて漂着した物もあることに目を向けさせるようにする。</p>  |
| 30分 | <p><b>ゴミを分類して現状を知ろう</b></p> <p>○拾ってきたゴミを分類する。<br/>                     ・ペットボトルは意外と少ないな。<br/>                     ・リサイクルに出せるものは少ないよ。<br/>                     ・輪がたくさん落ちていたけど何に使われているものなんだろう。<br/>                     ・輪はプラスチックでできていよ。<br/>                     ・プラスチックが一番多いな。</p> <p>○原因・疑問点を考える。<br/>                     ・ペットボトルなどのリサイクルできるものは簡単にごみ箱に捨てることのできるから少ないのかな。<br/>                     ・プラスチックのゴミが多いのはなぜだろう。<br/>                     ・有明海以外の海はどうなのだろうか。<br/>                     ・インターネットを使って調べよう。</p> | <p>※「大牟田市みなと振興室」からの三池港環境保全の取組についての話を振り返らせ、自分たちの力でできることは何かに焦点化して話し合わせる。</p> <p>※自分自身でできること、他者へ働きかけることに整理して話し合わせる。</p> <p>☆ポスター掲示ができる場所については教師からアドバイスする。</p> <p>☆環境保全に役立てるためには、どこへ寄付すればよいかについては教師からアドバイスする。</p> |
| 5分  | <p><b>学習を振り返ろう！</b></p> <p>○学習の振り返りを行い、今後の取組への意欲をもつ。<br/>                     ・他の海についても調べたい。<br/>                     ・こんなにゴミがあるとは思わなかった。これからも有明海を残していくためにも何か取り組みがひつようだな。</p>   | <p>※本時学習で、今後の見通しがもてたことを確認し、課題解決への意欲を高めるようにする。</p>   |

《海に親しむ・海を守る》  
 6年 単元名「海と人を通して見えたまち」(19+α時間)

1 単元のねらい

大牟田市が抱える課題に目を向け、大牟田市長や青年会議所の方々、三池港で働く方々、世界遺産・文化財室の方々との交流から学んだ事をいかしながら、日本や外国の町作りの事例を調べ、有明海や三池港の魅力をいかした町作りを考え、まちづくりを進めている方々に提案することができる。

2 単元の指導計画

| 配時  | 学 習 活 動  | ☆外部連携 ※指導上の留意点   |
|-----|--|--|
| 6時間 | <p><b>大牟田ではたらく人はどんな思いをもっているの？</b></p> <p>○市長や世界遺産・文化財室、青年会議所、三池港で働く方との交流を通して、大牟田に対する考えや、大牟田市の課題を知る。(6)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大牟田の町は三池港があって栄えていたんだ。</li> <li>・昔はたくさんの方が大牟田に来て働き、活気のある町だったんだ。</li> <li>・三池港の水は、テレビなどで見る他の海よりも汚れていそう。</li> <li>・近代化文化遺産は大牟田の誇れる宝だね。</li> <li>・時代とともに、だんだんと人口が減ってきているね。</li> <li>・人口が減ることで、空き屋が増える問題がでてきた。</li> </ul>  | <p>※総合的な学習の時間で学習した海洋に関する学習を想起させ、身近にある三池港や有明海的环境下に目を向けさせる。</p> <p>☆「青年会議所や世界遺産・文化財室、大牟田市みなと振興室」へ協力依頼し、それぞれの取組や願いについて話をしてもらう。</p>  |
| 9時間 | <p><b>暖琢磨さんのようにこれからの大牟田のまちを考えよう！</b></p> <p>○大牟田の抱えている課題から、課題を解決できそうな事例を調べ、これまでの海洋教育の内容や有明海、三池港などを関連させたまちづくりを考える。(6) <span style="background-color: black; color: white; padding: 2px;">本時 10/19</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が多いという課題から、栄養価の高い海苔を使った栄養食を提供する店があってもいい。</li> <li>・干満の差を利用した干潟公園を作ると、観光客が多く訪れてくれそう。</li> </ul> <p><b>自分ができること何か考えよう！</b></p> <p>○自分達が考えた町の提案から、できることを考える(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチックのゴミが海や川に流れないようにしよう。</li> </ul> <p><b>海洋教育テレビ会議</b></p> <p>○自分達が考えたまちづくりプランを他校に発信し、交流する。</p> | <p>※国語「資料をいかして呼びかけよう」「町の未来をえがこう」と関連させて指導し、学びが深まるようにする。</p> <p>※インターネットや図書の本などを活用させるとともに、事前に複数の資料を用意しておく。</p> <p>☆TV会議が円滑に進めることができるように、事前に他校の発表内容を子ども達に知らせ、質問の内容を考えておく。</p> |
| 4時間 | <p><b>「まちづくりプレゼン海」を開催しよう</b></p> <p>○青年会議所、産業振興課や観光おもてなし課の方を招待し、「まちづくりプレゼン会」を開催して、三池港・有明海、環境保全を呼びかけよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実現するためには、自分達が考えたことよりもたくさんの予算と時間がかかるんだ。</li> <li>・青年会議所の方々が自分達の考えを取り入れて会社に活用してくれるそう。</li> </ul> <p><b>海洋子どもサミット</b></p> <p>○自分達の学習内容を他校の子ども達と交流しよう</p> <p><b>学習を振り返ろう！</b></p> <p>○学習の振り返りを行い、自分たちの学習の価値を実感する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分達が考えたまちづくりのヒントになった。これからもアイデアを出したり、自分も活気ある町作りに協力したりしていきたい。</li> </ul>  | <p>☆事前に青年会議所や大牟田市広報課に連絡をし、発表資料を送付しておく。</p> <p>※ワークショップ型の交流にすることで、全員が発表できるようにし、GTには興味のあるものを聞くことができるようにする。</p> <p>☆海洋子どもサミットに向けて学校間で連絡を密にし、交流の仕方などを決めておく。</p>                |

他教科等関連項目

- 社会科「新しい時代の幕開け～近代国家に向けて」(9月～10月)
  - 大日本帝国憲法や日新・日露戦争などについて調べ、明治中期・後期から大正期にかけて国力が充実したことを知る。
- 国語科「資料をいかして呼びかけよう」
  - 複数の資料から情報を読み取り、資料を効果的に活用して、大牟田市の課題について自分の考えをつくる。
- 国語科「町の未来をえがこう」
  - 複数の資料から読み取った情報を、大牟田のまちの課題を解決するために活用し、資料を効果的に活用して発表する。
- 社会科「私たちの暮らしを支える政治」(12月)
  - 市民の願いが市の政策になるまでには、市役所が計画や予算案をつくり、議会の承認を受けて取り組みをしていることや、公共的な事業は、義務である国民が納める税金によって使われていることを知る。

《海に親しむ・海を守る》  
6年 単元名「海と人を通して見えたまち」(19+α時間)

3 本時のねらい

大牟田市の課題を調べて考えたまちづくりプランをもとに、まちづくりプランがよりよいものになるために話し合い、お互いの意見を取り入れたりしながら具体的なまちづくりプランをつくることができるようにする。

4 本時の指導計画

| 配時  | 学 習 活 動  | ☆外部連携 ※指導上の留意点  |
|-----|--|---|
| 10分 | <p><b>自分が調べてつくったまちづくりプランを、同じ大牟田の課題を調べた友達に提案しよう。</b></p> <p>○人口減少・ゴミ問題・空き家問題などの各課題ごとにグループを作り、自分の考えたまちづくりプランを提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少を止めるためには、観光客を呼べるような公園を作る。</li> <li>・ゴミ問題を解決するためには、ポイ捨ての合い言葉を作るといい。</li> <li>・空き家問題を解決するために、空き家を水族館にするといい。</li> <li>・高齢者が多いので、海苔などを使ったお弁当屋さんをつくりたい。</li> <li>・ペットボトルや空き缶などを海岸で捨てる人が多いから、クリーンアップ運動などのイベントをするといい。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>同じ課題から考えたまちづくりプランを話し合い、よりよいまちづくりプランをつくろう。</p> </div>  | <p>※前時までで考えたまちづくりプランを画用紙にまとめ、視覚化させることで、話し合いを円滑に進めさせるようにする。</p> <p>※共通点や差異点、関連づけさせられるような考え、考えと考えを包括し、新しい考えをつくることのできるのかなどの視点を持たせ、交流させる。</p>                 |
| 30分 | <p><b>グループで話し合い、よりよいまちづくりプランをつくろう。</b></p> <p>○お互いの考えが活かさないか話し合い、まちづくりプランを作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少の課題では、観光客を呼び、大牟田に住んでもらいたい。そこで、干潟公園を作って、観光スポットを作ろうと考えた。友達が考えた海産物を利用した料理を海浜公園の近くに設置すると、より観光客を呼ぶことができると思う。</li> <li>・ゴミ問題の課題を解決するためには、投票ゴミ箱を作ろうと思っていたけれど、合い言葉も一緒にゴミ箱に書くともっと良いと思う。</li> <li>・高齢者が多くなっていくので、健康に長生きしてもらいたい。そこで、栄養価の高い海産物のよさをもう一度見直し、海苔を使った料理をしようと考えていた。友達が調べたアサリも栄養も高いので、アサリと海苔を使った料理を作り、お弁当にしてみたらどうかな。</li> <li>・マイクロプラスチックは世界的な問題で、有明海も同じようなことが言えると思う。そこで、プラスチックゴミを出さないために、使い捨てストローを使わないようにしようと考えた。友達もたくさんさんのプラスチックゴミの減少方法を調べていたので活用しよう。</li> </ul> | <p>※ホワイトボードや模造紙を使って自由に意見を交流できるように、交流するためのツールを用意しておく。</p> <p>※具体的なまちづくりなのか、実現可能なまちづくりなのか、お互いで議論させる。</p> <p>※個人が使った資料をグループで持ち寄り、さらに複数の資料からまちづくりプランを考える。</p> |
| 5分  | <p><b>学習を振り返ろう！</b></p> <p>○学習の振り返りを行い、今後の取組への意欲をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日は同じ課題を持つ人と交流し、お互いの意見を取り入れながらまちづくりを考えることができた。</li> <li>・他のグループはどんなまちづくりを考えたのかな。</li> </ul>   | <p>※本時学習で、今後の見通しがもてたことを確認し、課題解決への意欲を高めるようにする。</p>   |